

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成23年2月3日 (2011.2.3)

【公表番号】特表2010-524910(P2010-524910A)

【公表日】平成22年7月22日 (2010.7.22)

【年通号数】公開・登録公報2010-029

【出願番号】特願2010-503583(P2010-503583)

【国際特許分類】

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/47 (2006.01)

A 6 1 P 17/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 15/00 (2006.01)

【F I】

A 6 1 K 37/02

C 0 7 K 14/47 Z N A

A 6 1 P 17/02

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 15/00

【手続補正書】

【提出日】平成22年12月2日 (2010.12.2)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

瘢痕の予防、軽減、または抑制のための薬剤として使用される

分泌性Frizzled関連タンパク質 3 (sFRP3)、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 2】

請求項 1 に記載のsFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、薬剤が、瘢痕を予防、軽減、または抑制しようとする部位に処方するための局所薬剤である

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 3】

請求項 1 または請求項 2 に記載の sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、薬剤が、局部注射に好適である

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 4】

請求項 1 ~ 請求項 3 のうちいずれかに記載のsFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、皮膚の瘢痕の予防、軽減、または抑制に使用される

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 5】

請求項 1 ~ 請求項 4 のうちいずれかに記載のsFRP3、または治療に効果的なその断片もし

くはその誘導体であって、創傷に関連する瘢痕の予防、軽減、または抑制のための薬剤として使用される

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 6】

請求項 5 に記載の sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、創傷が、皮膚の創傷；眼の創傷であって、レーザー屈折矯正角膜切除術（PRK）、レーザー上皮細胞屈折矯正術（LASEK）、生体内レーザー屈折矯正術（LASIK）、または白内障手術のような眼の外科手術により生じる眼の創傷；前囊収縮となり得る創傷；血管の創傷；中枢および末梢神経系の創傷；腱、靱帯または筋肉の創傷；口腔の創傷であって、唇および口蓋の創傷を含む口腔の創傷；内部器官の創傷であって、肝臓、心臓、脳、消化組織および生殖組織の創傷を含む内部器官の創傷；および、体内腔の創傷であって、腹腔、骨盤腔および胸腔を含む体内腔の創傷から成る群から選択される

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 7】

請求項 5 または請求項 6 に記載の sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、創傷が、外科的創傷である

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 8】

上述の請求項のうちいずれかに記載の sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、線維性疾患に関連する瘢痕の予防、軽減、または抑制のための薬剤として使用される

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 9】

請求項 8 に記載の sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、線維性疾患が、皮膚線維症；強皮症；結膜瘢痕化；進行性全身性線維症；肺線維症；筋線維症；腎臓線維症；糸球体硬化症；糸球体腎炎；子宮線維症；腎線維症；肝硬変、肝線維症；慢性閉塞性肺疾患；心筋梗塞の事後の線維症；中枢神経系線維症であって、脳卒中の事後の線維症のような中枢神経系線維症；神経変性疾患に関連する線維症であって、多発性硬化症のような神経変性疾患に関連する線維症；増殖性硝子体網膜症（PVR）に関連する線維症；再狭窄；子宮内膜症；虚血性疾患および放射線線維症から成る群から選択される

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 10】

上述の請求項のうちいずれかに記載の sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体であって、薬剤が、創傷または線維症の 1 センチメートルあたり、約 2.6 フェムトモル (fmol) から 40 ピコモル (pmol) までの sFRP3、その断片または誘導体を投与する

sFRP3、または治療に効果的なその断片もしくはその誘導体。

【請求項 11】

請求項 1 ~ 請求項 10 のうちいずれかに従って使用される

sFRP3。

【請求項 12】

請求項 1 ~ 請求項 10 のうちいずれかに従って使用される、sFRP3 の CRD から成る断片；sFRP3 の C 末端ドメインから成る断片；sFRP3 のファルマコフォアから成る断片；および、sFRP3 のグリコシル化断片から成る群から選択される

sFRP3 の治療に効果的な断片。

【請求項 13】

請求項 1 ~ 請求項 10 のうちいずれかに従って使用される、sFRP3 のファルマコフォアに基づく、治療に効果的な誘導体；sFRP3 またはその断片の、治療に効果的なペプチド誘導体；sFRP3 またはその断片の、治療に効果的な D - アミノ酸誘導体；sFRP3 またはその断片に基づく、治療に効果的なペプチド模倣剤；sFRP3 またはその断片の、治療に効果的な

ペプチド類似体；sFRP3またはその断片に基づく、治療に効果的な擬ペプチド；sFRP3またはその断片に基づく、治療に効果的なレトロ-インベルソペプチド；sFRP3またはその断片の、治療に効果的なデブシペプチド誘導体；sFRP3またはその断片に基づく、治療に効果的な(-)ペプチド誘導体；sFRP3またはその断片の、治療に効果的な小分子擬態剤；および、sFRP3またはその断片に基づく、治療に効果的なレトロペプチド誘導体から成る群から選択される

sFRP3の治療に効果的な誘導体。